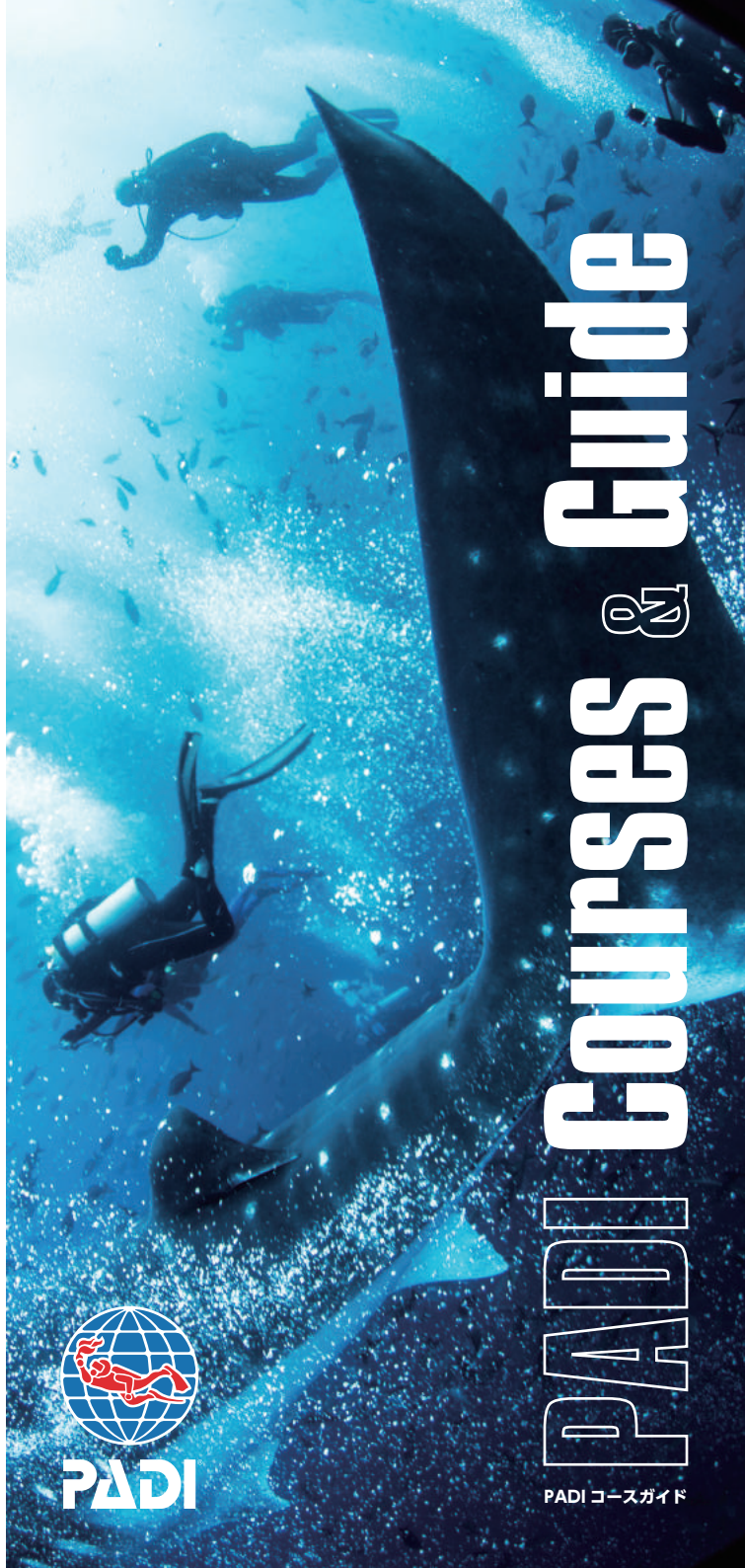




株式会社パディ・アジア・パシフィック・ジャパン
〒104-6040 東京都中央区晴海1-8-10
晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワー X 40F
Tel: 03-6372-7234 www.padi.co.jp 

Product No.60098J (06/21)



PADI COURSES & Guide

PADI コースガイド



GO DIVE!

初めての海。

目の前を魚の群れが横切り、

心地よい無重力に身を委ね、

水面に浮かぶ太陽を眺める…。

こんな感動を一度味わってしまったら、

きっともっといろんなダイビングの世界に

飛び込んでみたくなるはず。

PADIなら、そんなあなたの好奇心に

しっかり応えるコースが勢揃い。

陸上にはない発見や驚き、幻想的な光景、

そしてかつてない感動の瞬間へ。

多彩なPADIのコースで、

あなたらしいダイビングの

楽しみ方を見つけてください。

PADI COURSE FLOWCHART

PADI コース・フローチャート

PSD

PADIスクーバ・ダイバー

OWD

オープン・ウォーター・ダイバー

PADI
FREEDIVER

PADI AWARE
FOUNDATION™

AOW

アドヴァンスト・オープン・ウォーター・ダイバー

EFR

エマージェンシー・ファースト・レスポンス

RD

レスキュー・ダイバー

SP PADIスペシャルティ・ダイバー・コース

- アルティチユード・ダイバー
- サング礁の保護
- サメの保護ダイバー
- Dive Against Debris
- ボート・ダイバー
- カヴァーン・ダイバー
- ディープ・ダイバー
- デイレイドサーフェスマーカーブイ (DSMB) ダイバー
- デジタル・アンダー・ウォーター・フォトグラファー
- ダイバー・プロパルジョン・ビークル・ダイバー
- ドリフト・ダイバー
- ドライスーツ・ダイバー
- エンリッチド・エア・ナイトロックス・ダイバー
- エマージェンシー・オキシジェン・プロバイダー
- 器材スペシャリスト
- 魚の見分け方ダイバー
- フルフェイス・マスク・ダイバー
- アイス・ダイバー
- ナイト・ダイバー
- ピーク・パフォーマンス・ポイヤンシー・ダイバー
- パブリック・セーフティ・ダイバー
- サーチ&リカバリー・ダイバー
- リプリーザー・ダイバー
- サイドマウント・ダイバー
- アンダー・ウォーター・ナビゲーター
- アンダー・ウォーター・ナビゲーター
- レック・ダイバー

MSD

マスター・スクーバ・ダイバー

take the
**MASTER
SCUBA DIVER
Challenge**

DM

ダイブマスター

PADI PROFESSIONAL

日本国内でも
多くのユーザーに
支持された結果…

日本国内PA DIダイバー200万人突破! 国内シェア率6割以上!

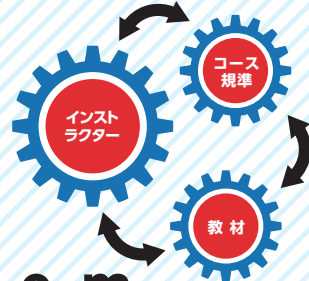


PADIが選ばれるのには
理由があります。

PADIは**世界最大のダイビング指導団体**で、PADIのCカード(ライセンス)は世界中で最も認知されています。ISO認定を受けているPADIプログラムは**常に最新・最善**を追及しており、質の高いPADIインストラクターが講習を実施し、安全に楽しく学ぶことができます。学科講習には**eラーニング**を使うことで、自宅好きな時間に自分のペースで進めることも可能です。PADIは**“SEEK ADVENTURE. SAVE THE OCEAN.”**のスローガンの下、海への探求心や癒しへの想いを満たす様々なプログラムをご用意しています。このかけがえのない体験は皆さんの人生を更に豊かにし、共に愛する美しい海を守っていきたい、という気持ちも育んでくれると信じています。

PADIの教育システムとは・・・

- 教育心理学に基づく様々なアプローチ法(見る・聞く・試す)を活用し、ダイバーにとって不可欠な知識を確実に習得でき、しっかり記憶にとどめることができます。
- 一件大変そうなスキルも、誰もが簡単に習得できるよう小分けして、何ができるようになればよいのかを明確化した上で練習に組み込まれているため、確実に修得できるうえコースを進行する中で自然に繰り返し経験を積み重ねます。その結果一つ一つのスキルの習熟度が確実に高まります。
- PADIの教育システムを熟知したインストラクターが、貴方に合ったコースを提供します。
- PADIコース規準の役割
 - PADIがコースを修了した方に100%アンケート実施し、常にコースの質をモニター
 - コースの順序を定め安全面からも無理なくコースが進められるよう設定
 - テーマごとに達成する目標を明確化



PADI Education System

いつでも、どこでも
好きなときに。



PADI eラーニングは、時間や場所を気にすることなく、いつでも、どこでも好きなときに、学習ができるシステムです。

今まで忙しく、なかなか時間に都合がつかなかった方も、このシステムを使えば学科講習部分は、オンライン上で修了することができます。あとは、休日にプールと海へ行って、ダイビングの練習をすれば、あなたも晴れてダイバーの仲間入りです。

PADI eラーニング

よくある質問

Question

Q eラーニングとは何ですか？

PADIeラーニングは、時間や場所を気にすることなく、いつでも、どこでも好きなときに、インターネットを利用してオンライン学習、または事前にダウンロードしてオフライン学習ができるシステムです。

Q パソコン/タブレット/スマートフォンだけで本当に理解できるのですか？

マニュアルとビデオの内容がすべて網羅されており、所々で動画やミニ・クイズを挟みながら内容が理解しやすくなるよう工夫されています。わからないところは何度でも確認することができますし、画面上から選択したショップへ問い合わせることもできます。内容だけでなく操作で不明な点も、ショップのプロスタッフが対応してくれるので安心です。

PADI eLearning®

【英語、日本語、中国語(簡・繁)、韓国語、フランス語、ドイツ語、オランダ語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、デンマーク語、タイ語他全26言語対応(2021年4月現在、オープン・ウォーター・ダイバー・コース)】

Q 学習が終わったら？

eラーニングは各コースの知識開発(学科講習)を行なうものであり、それだけでコースの認定となるわけではありません。各コースのオリエンテーションで、認定に必要な内容をご確認いただき、選択したショップで認定に必要な残りの部分を完了させてください。なおダイブ・セオリーについては、それ自身が認定コースではなく知識の習得を目的とした商品となっておりますのでご了承ください。

Q 1台のパソコンで複数人の学習はできますか？

学習の記録はアカウント毎に管理されますので、例えば2名で受講する場合は2名分のeラーニングを(それぞれ別のeメールアドレスで)購入していただく必要があります。1台のパソコンでユーザーを切り替える場合はその都度ログアウトし、新たに学習する方のメールアドレスとパスワードでログインし直してください。

PADI オープン・ウォーター・ダイバー・コース

水中世界の感動を味わえる
"ダイバー"になろう!

PADIオープン・ウォーター・ダイバー・コースは、潜水計画から海況の判断、トラブルの回避など、ダイビングを安全に楽しむために必要な知識とスキルを本格的に身につけるコースです。このコースを修了すると、ダイバーとして必要な知識・スキルを身につけた証明としてのCカードが発行され、コースで学んだ知識とスキルを応用して、受けたトレーニングと経験の範囲内で、監督者なしでダイビングすることができるようになります。

参加前条件

年齢15歳以上(ジュニア・オープン・ウォーター・ダイバーは10歳以上)

講習内容

知識開発(5セッション) or eラーニング
+プール・ダイブ(5セッション)
+海洋実習(4ダイブ)



PADI Open Water Diver Course

Products Introduction

PICK UP!
PADIオープン・ウォーター・ダイバー
eラーニング/
オープン・ウォーター・ダイバー・マニュアル



全5章。まずは水中世界という未知の環境を紹介し徐々に専門的な内容になっていくので、分かりやすくダイビングについての知識をつけることができます。また練習問題も含まれているので、ダイビングについての知識がつかいかどうか自分でチェックすることもできます。

インストラクターの講習のもとで使用してもよいですし、自宅できつるぎながら読んでもOK。オープン・ウォーター・ダイバーデジタル・ビデオと合わせて使用するとさらに効果的です。

*eラーニングにはマニュアルとビデオの内容が含まれます。



PADIオープン・ウォーター・ダイバー・コース
デジタル・ビデオ



PADIオープン・ウォーター・ダイバー・マニュアル
・RDPテーブルタイプ&
インストラクション・ブックレットセット



1.レクリエーション・ダイブ・プランナー
(RDP)テーブルタイプ
2.テーブル・インストラクション・ブックレット



ポケットログ&
トレーニングレコード



ポケットログ・
トレーニング
レコード用カバー



アドベンチャーログ



デラックス
データキャリア



スキル練習/
ダイブプランニング
スレート



PADI製品のご購入は、最寄りのPADIダイブセンター/リゾートまで。

PADI eラーニングでの学習も可能!詳しくは、P30~31をご参照ください。

アドヴァンスド・オープン・ ウォーター・ダイバー・コース

PADIアドヴァンスド・オープン・ウォーター・コースは、エントリーレベルのダイバーが、水中写真や魚の観察等、アドベンチャー・ダイブに興味を持ったら「すぐに次を試してみよう」という希望に対応できるように設定されています。アドベンチャー・ダイブの中から3種類、または5種類のアドベンチャー・ダイブを修了すると、「アドベンチャー・ダイバー」または「アドヴァンスド・オープン・ウォーター・ダイバー」に認定されます。コース参加者はアドベンチャー・ダイバー認定なら最短で1日、アドヴァンスド・オープン・ウォーター・ダイバー認定でも最短2日で取得することが可能です。

また、先にアドベンチャー・ダイバー認定を受けた場合でも、この3回のダイブをクレジットし、追加の2ダイブでアドヴァンスド・オープン・ウォーター・ダイバー認定が可能です。

参加前条件

PADIオープン・ウォーター・ダイバー以上、または相当する他団体の認定を持っている方。また、アドベンチャー・ダイバー・コースは10歳以上、アドヴァンスド・オープン・ウォーター・ダイバー・コースは12歳以上。

※アドベンチャー・ダイブによって年齢制限が異なるので、事前に受講するPADIダイブショップにお問い合わせください。

講習内容

Thinking Like a Diver (経験豊富なダイバーの視点で物事を考える)の知識開発セクションまたはeラーニングの修了に加え、アドベンチャー・ダイバー・コースは3種類、アドヴァンスド・オープン・ウォーター・ダイバー・コースは、5種類のアドベンチャー・ダイブ(水中ナビゲーション、ディープダイブを含む)

めいっぱい海で遊んで
経験豊富になろう。

Advanced Open Water Diver Course

Products Introduction

PICK UP!

アドヴァンスド・オープン・ウォーター・ダイバー
eラーニング/アドヴァンスド・オープン・
ウォーター・ダイバー・マニュアル



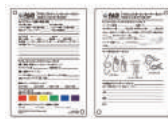
今までのマニュアルにはなかった「Thinking Like a Diver (経験豊富なダイバーの視点で物事を考える)」という知識開発セクションが設けられ、オープン・ウォーター・ダイバー・コースからの一貫した安全への配慮と考えるダイバー作りを実践できるようデザインされています。マニュアルには、13種類のアドベンチャー・ダイブが実施できるように情報が掲載されています。



アドヴァンスド・オープン・ウォーター・ダイバー デジタルビデオ



アドヴァンスド・オープン・
ウォーター・ダイバー・マニュアル



AOWマルチパス
(多目的) データキャリア



スクーパセクスタント



PADI製品のご購入は、最寄りのPADIダイブセンター/リゾートまで。

PADI eラーニングでの学習も可能!詳しくは、P30~31をご参照ください。

レスキュー・ダイバー・コース

すべてのダイバーが
身につけておきたい

大自然を相手に遊ぶダイビングでは、ときとして予想外のアクシデントに遭遇する場合があります。ほんのささいなことがきっかけで大きなトラブルにつながるケースが多いのです。たとえば、水面で水を飲んで慌ててしまったり、エントリー時や水中移動時にスクーバ器材をひっかけて身動きがとれなくなってしまう。落ち着いて対処すればすぐに解消できる小さなトラブルが原因となって、一瞬にしてストレスから不安、パニックへと拡大してしまいます。こうしたトラブルが発生してもすぐに対応できる知識を備えるとともに、トラブルを未然に防ぐ能力を身につけ、さらに万が一の事故の際の救命方法までを学ぶのが、レスキュー・ダイバー・コースです。

参加前条件

PADIアドベンチャー・ダイバー以上、または相当する他団体の認定を持っている方、かつエマージェンシー・ファースト・レスポンス(EFR)プログラム修了者、または相当する修了者
※アドベンチャー・ダイバーの場合、ナビゲーション・ダイブを行なっていることが条件となります。

講習内容

知識開発 or eラーニング + 海洋でのレスキュー課題 + シナリオで少なくとも2日以上

Rescue Diver Course

Products Introduction

PICK UP!

レスキュー・ダイバー eラーニング /
レスキュー・ダイバー・マニュアル



レスキューの心理、ダイバーの緊急事態のための準備、事故の管理、ダイバーの緊急事態への対応の項目をセクションを追うごとに深く掘り下げて説明しています。その他にも器材に関する問題、アシスト方法、酸素やAED(自動体外式除細動器)の情報にも触れており、単なるレスキューのテクニックの紹介に留まらず、レスキューに関する全ての情報を網羅しています。レスキュー・ダイバーデジタル・ビデオと合わせて使用するとより効果的です(事故管理ワークシート付)。



レスキュー・ダイバー デジタルビデオ



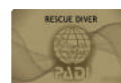
レスキュー・ダイバー・マニュアル



ダイビング事故管理ワークシート



ポケットマスク



PADI製品のご購入は、最寄りのPADIダイブセンター/リゾートまで。

PADI eラーニングでの学習も可能!詳しくは、P30~31をご参照ください。

PADIスペシャルティ・ダイバー・コース

SP27

未知の世界へのチャレンジで
さらに広がるダイビングの世界

基本を
磨こう!

01 ▶ 07

環境意識を
高めよう

03 ▶ 10

遊びの
コツをマスター
しよう!

11 ▶ 12

行動範囲
を広げよう!

13 ▶ 27

PADI Specialty Diver Course

まだ経験していない、特定の分野での基本的なダイビング（例えばディープダイブやポートダイブなど）の仕方（計画、マナー、トラブルの予防）や、使ったことがない初めての器材（例えばドライスーツや水中スクーター、水中カメラなど）の使い方などのノウハウを身につけ、経験と楽しみの幅を広げることを可能にするのがスペシャルティ・コースです。

「スペシャル」といっても、スペシャリストを育成するわけではありません。ある特定（＝スペシャル）の分野で、そのコースで学んだ知識とスキルを応用して、受けたトレーニングと経験の範囲内で、監督者なしで、その特定のダイビングをすることができるようになります。

「アドベンチャー・ダイバー・コース」、「アドヴァンスト・オープン・ウォーター・ダイバー・コース」でのアドベンチャーダイブでは、それぞれ特定分野のダイビングを経験し、試すことができますが、スペシャルティ・コースではそれに加え、その特定の分野において自立したダイバーになることを目的としています。

PADIスペシャルティ・ダイバー・コース

01 水中ナチュラリスト

海の生き物について詳しく知りたい!

水中生物の知識から、それらを傷つけない接し方、行動を妨げないテクニック、危険な生物に対する認識などを学びます。この海をあるがまま楽しむ水中ナチュラリストとして、海の自然環境に対する造詣を深め、観察能力のアップを図ります。



参加条件 ▶ PADI(ジュニア)オープン・ウォーター・ダイバーまたは相当する資格で、10歳以上

コース内容 ▶ レクチャー&海洋実習2ダイブ

▶ 基本を磨こう

02 水中ナビゲーター

水中での方向感覚を高めたい!

海中で目標地に正確に向かうコンパス・ナビゲーションをはじめ、自然の目標物を確認しながら移動するナチュラル・ナビゲーションや、ナビファインダーを使いこなす技術を学びます。最短距離で安全に移動できることは大きな自信になります。



参加条件 ▶ PADI(ジュニア)オープン・ウォーター・ダイバーまたは相当する資格で、10歳以上

コース内容 ▶ レクチャー&海洋実習3ダイブ

▶ 基本を磨こう

03 器材スペシャルティ

器材について詳しく知りたい!

初めての購入から買い替え、さらにメンテナンス法や使いこなす方を知りたいダイバーなど、幅広いニーズに応えます。器材の構造やメンテナンス法を理解することで、使い勝手や信頼度も上がり、トラブルにも適切に対処できるようになります。



参加条件 ▶ PADI(ジュニア)スクーバダイバー以上で、10歳以上

コース内容 ▶ レクチャーのみ

▶ 基本を磨こう

04 ポート・ダイバー

より快適にポートで潜りたい!

ボートの種類とダイビングのスタイルに応じたエントリーとエキジットの方法、船上の人数と座る位置のバランス、船上で器材を着脱するコツなどをマスターします。速いポイントに繰り出すポート・ダイブツアーも安心して楽しめるようになります。



参加条件 ▶ PADI(ジュニア)オープン・ウォーター・ダイバーまたは相当する資格で、10歳以上

コース内容 ▶ レクチャー&海洋実習2ダイブ

▶ 基本を磨こう

05 ドライスーツ・ダイバー

オールシーズン潜りたい!

ドライスーツの着脱法から、給・排気バルブの操作法、適切なエアコントロール、取扱注意点、使用後や穴が開いた場合のメンテナンス方法などを学び、シーズンを問わず快適にダイビングできるドライスーツの使いこなしをマスターします。



参加条件 ▶▶ PADI(ジュニア)オープン・ウォーター・ダイバーまたは相当する資格で、10歳以上

コース内容 ▶▶ レクチャー&海洋実習2ダイブ

▶▶ 基本を磨こう

06 ピーク・パフォーマンス・ボイアンシー

宇宙遊泳のように海の中を漂いたい!

タンクやスーツの種類によってウエイトを調整する知識から、BCDや呼吸をコントロールして水中で浮き沈みをしない状態、中性浮力がとれるテクニックを磨きます。安全面の向上はもちろん、水中撮影の際にもピタッと止まれるようになります。



参加条件 ▶▶ PADI(ジュニア)オープン・ウォーター・ダイバーまたは相当する資格で、10歳以上

コース内容 ▶▶ レクチャー&海洋実習2ダイブ

▶▶ 基本を磨こう

07 魚の見分け方

魚の見分け方を覚えたい!

一般的な魚をカタチに応じて分類することで、魚を種別するコツを学びます。一見同じように映る魚たちも、そのカタチや特徴で系統立てて区別すると、明快な生態系ストーリーがあることがわかります。すると魚の名前もスムーズに覚えられます。



参加条件 ▶▶ PADI(ジュニア)オープン・ウォーター・ダイバーまたは相当する資格で、10歳以上

コース内容 ▶▶ レクチャー&海洋実習2ダイブ

▶▶ 基本を磨こう

08 Dive Against Debris

ダイバーだからこそできる水中からの海洋ゴミの回収!

水中からの海洋ゴミの回収を実施するための知識とスキルを学び、海からゴミを回収し、ゴミの種類や量の報告をします。私たちダイバーは海をきれいに、かつ健康に保つのに大きな役割を果たすことができるのです。



参加条件 ▶▶ PADI(ジュニア)オープン・ウォーター・ダイバーまたは相当する資格で、12歳以上

コース内容 ▶▶ レクチャー&最低限海洋実習1ダイブ

▶▶ 環境意識を高めよう

09 サンゴ礁の保護

サンゴ礁を守りたい!

サンゴ礁は地球最古の生態系であり、海洋生物にとっての大切な生息環境であるほか、沿岸の土地を侵食から守り、地球温暖化の要因である二酸化炭素を吸収します。このような計り知れない恩恵をもたらすサンゴ礁について詳しく学ぶコースです。



参加条件 ▶▶ 特になし

コース内容 ▶▶ レクチャーのみ

▶▶ 環境意識を高めよう

10 サメの保護

サメを取り巻く環境について詳しく知りたい!

ダイバーとノンダイバーの両方に対して、絶滅が危惧されている種類のサメの保護に積極的に参加するよう働きかけるコースです。国際レベルでも、サメ漁業管理の改善に取り組んでいるProject AWAREの活動をサポートするの役に立ちます



参加条件 ▶▶ ● 知識開発部分のみ参加の場合は、参加前条件は特になし。
● 海洋実習がコースに含まれている場合は、PADI(ジュニア)オープン・ウォーター・ダイバーまたは相当する資格で、12歳以上

コース内容 ▶▶ スペシャルティの認定にはレクチャー&海洋実習2ダイブ

▶▶ 環境意識を高めよう

11 ダイバー・プロパルジョンビークル

行動半径がグンと広がる!

水中スクーターを使えば行動半径が格段に広がり、またその飛ぶように走る爽快感はやみつきになります。ここでは基本的な操作方法から、安全深度、操作上の注意点、操作中の耳抜き法、浮力コントロール、メンテナンス法などを習得します。



参加条件 ▶▶ PADI(ジュニア)オープン・ウォーター・ダイバーまたは相当する資格で、12歳以上

コース内容 ▶▶ レクチャー&海洋実習2ダイブ

▶▶ 遊びのコツをマスターしよう!

12 デジタル・アンダーウォーター・フォトグラファー

デジカメで水中撮影を楽しみたい!

今や陸上でも水中でも広く普及しているデジタルカメラ。このコースに参加することで、撮影環境に応じた設定に素早く調整できるようになり、構図にもこだわった写真が撮れるようになります。ワンランク上のデジカメ撮影を目指したい人におすすめのコースです。



参加条件 ▶▶ PADI(ジュニア)オープン・ウォーター・ダイバーまたは相当する資格、またはスノーケラー・レクチャー&海洋実習2ダイブ(タイプ1はプールまたは

コース内容 ▶▶ 限定でも可能)、レベル1はレクチャー&海洋実習1ダイブ(プールまたは限定でも可能)

▶▶ 遊びのコツをマスターしよう!

13 サイドマウントダイバー

水中でのバランスが抜群!

2本の独立したタンクにそれぞれレギュレーターを取り付け、専用のハーネスとBCD、もしくは通常のBCDにバランスよく装着する方法や、その他基本的なダイビングスキルをサイドマウント装備で実施できるようにトレーニングします。



参加条件 ▶ PADIオープン・ウォーター・ダイバー 以上で、15歳以上

コース内容 ▶ レクチャー&限定(またはプール)実習1ダイブ&海洋実習3ダイブ

▶ 行動範囲を広げよう!

14 ナイト・ダイバー

夜の海の世界を知りたい!

夜の海に安全に潜る知識から、目的地にたどりつくコンパス・ナビゲーション、合図やライトの効果的な使い方、パディとコンタクトをとる方法などを学びます。夜の海では昼とはまったく違う幻想的な世界や生物の意外な生態に出会えるはずです。



参加条件 ▶ PADI(ジュニア)オープン・ウォーター・ダイバーまたは相当する資格で、12歳以上

コース内容 ▶ レクチャー&海洋実習3ダイブ

▶ 行動範囲を広げよう!

15 ディープ・ダイバー

18mよりも深い場所に潜ってみたい!

水深18m以深の水中環境を知って、より安全にダイビングを行なうための知識の習得を目的とします。潜る深度と時間を決める潜水計画の立て方、減圧理論、安全停止や浮上法もしっかり学びます。世界の屈指のポイントへの挑戦が可能になります。



参加条件 ▶ PADIアドベンチャー・ダイバー以上で、15歳以上

コース内容 ▶ レクチャー&海洋実習2日間4ダイブ

▶ 行動範囲を広げよう!

16 ドリフト・ダイバー

潮の流れに乗ってラクに潜りたい!

ドリフト・ダイビングとは、潮の流れによって水中を移動するダイビング方法です。体力の消耗も少なく、広い水域をラクに移動できます。ここではドリフト・ダイビングの注意点やエントリー&エキジット方法、シグナル器材の使用法などを学びます。



参加条件 ▶ PADI(ジュニア)オープン・ウォーター・ダイバーまたは相当する資格で、12歳以上

コース内容 ▶ レクチャー&海洋実習2ダイブ

▶ 行動範囲を広げよう!

17 アルティチュード(高所)・ダイバー

高所にある湖や川など淡水で潜ってみたい!

山岳地帯の湖など海拔300m以上の高所で潜るダイビングのこと。酸素が薄い高所での行動、淡水で潜るためのウエイト重量、ダイブテーブルの引き方、浮上の方法など、海洋と異なる注意点を、実際に高所でダイビングしながら受講できます。



参加条件 ▶ PADI(ジュニア)オープン・ウォーター・ダイバーまたは相当する資格で、10歳以上

コース内容 ▶ レクチャー&海洋実習2ダイブ

▶ 行動範囲を広げよう!

18 エンリッチド・エア・ダイバー

より安全にダイビングを楽しむ

通常の空気には酸素が21%含まれていますが、酸素を22%以上含んだ気体をエンリッチド・エアといいます。ここではエンリッチド・エアを使ったダイビングを習得。減圧不要限界を延長できるため、水中生物の観察や水中撮影がじっくりとできます。



参加条件 ▶ PADI(ジュニア)オープン・ウォーター・ダイバーまたは相当する資格で、12歳以上

コース内容 ▶ レクチャー&ダイブ前に準備実習2回
※オプションで海洋実習2ダイブ

▶ 行動範囲を広げよう!

19 サーチ&リカバリー

水中で宝探しをしてみたい!

ダイビング中に物を落とした時、それを探して水面に引き上げる技術をマスターします。発見場所の記憶方法から、再度その位置に戻るナビゲーション、引き上げ作業の方法や手順などを学びます。これを応用し海底地図を描けるようにもなります。



参加条件 ▶ PADI(ジュニア)アドヴァンスト・オープン・ウォーター・ダイバー以上で、12歳以上

コース内容 ▶ レクチャー&海洋実習2日間4ダイブ

▶ 行動範囲を広げよう!

20 レック(沈船)・ダイバー

沈船を安全に冒険したい!

レックとは「難破したもの」の意味で、レック・ダイビングとは沈船に潜ることです。棲みついた魚を観賞したり船内探索をしたりすると、夢とロマンが刺激されます。ここでは船中に張ったガイド用ロープをつたって移動するコツなどを学びます。



参加条件 ▶ PADIアドベンチャー・ダイバー以上で、15歳以上

コース内容 ▶ レクチャー&海洋実習2日間4ダイブ

▶ 行動範囲を広げよう!

21 アイス・ダイバー

氷の下の神秘的な世界を体験

氷の下という極寒の地では、ダイバーの体温の確保だけでなく器材についても万全の対策が必要です。ここでは専用の特別な器材の使い方、合図、連絡手段などを学び、エントリーした時と同じポイントからエキジットする方法をマスターします。



参加条件 ▶▶ PADIアドヴァンスド・オープン・ウォーター・ダイバー以上で、18歳以上

コース内容 ▶▶ レクチャー&海洋実習3ダイブ

▶ 行動範囲を広げよう!

22 エマージェンシー・オキシジェン・プロバイダー

緊急時の酸素の使い方を知りたい

減圧障害のファーストエイドでは酸素供給が有効です。このコースでは、実際の酸素供給器材を使用して、供給するためのマスク(ポケットマスクやノンリブリーザー・マスクなど)を使ったテクニックを実習します。



参加条件 ▶▶ ダイバー及びダイビング関係者で、達成条件を満たせば誰でも。
※達成条件とは、コース内の各ダイビング毎に設定された、音高を確認するための基準で、何をどの程度でできれば良いかを明文化したもの

コース内容 ▶▶ レクチャー&実習(スキル練習)

▶ 行動範囲を広げよう!

23 カヴァーン・ダイバー

アドベンチャーを求めるダイバーに!

カヴァーン(Cavern)とは洞窟のこと。カヴァーンダイブにおける危険性や問題点を回避するためのテクニックや手順、ダイブプランの立て方を習得するコースです。ガイドラインやリールなどの特殊器材の使い方、基本的な体のポジションや浮力コントロール、空気の管理法や緊急時の手順を身につけます。また、特有の環境による危険性やラインの拘束などのトラブルへの対応法も学びます。



参加条件 ▶▶ PADIアドヴァンスド・オープン・ウォーター・ダイバー以上で、18歳以上

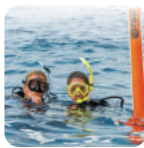
コース内容 ▶▶ 洋実習4ダイブ

▶ 行動範囲を広げよう!

24 デイレイドサーフェスマーカーブイダイバー(DSMB)

今どきのダイビングには必須のDSMB!

通常のダイビングでも使用されること多いSMB(サーフェスマーカーブイ)とDSMB(デイレイドサーフェスマーカーブイ)の違いや使用目的、安全な使用方法を学び、スキルを身につけます。現在のダイビングではすべてのダイバーが習得しておくべきコース内容です。



参加条件 ▶▶ PADI(ジュニア)オープン・ウォーター・ダイバーで、12歳以上

コース内容 ▶▶ レクチャー&海洋実習2ダイブ

▶ 行動範囲を広げよう!

25 フルフェイス・マスク・ダイバー

新たな器材の使用によるダイビングの興行きを知ろう!

現在のダイビングスタイルでポピュラーになりつつある器材のひとつがこのフルフェイス・マスク。いろいろなメーカーから様々なタイプが発売されており、コースの中ではタイプの違いとそれぞれの基本的な使用方法を学びます。



参加条件 ▶▶ PADIオープン・ウォーター・ダイバー(受講中も可)で、12歳以上

コース内容 ▶▶ 知識開発&限定水域1ダイブ、海洋実習2ダイブ

▶ 行動範囲を広げよう!

26 パブリック・セーフティ・ダイバー

特殊で劣悪な水中環境での活動方法を身につける

事故現場や犯罪現場などを含めた特殊で劣悪な水中環境での捜索方法や安全管理の知識や技術を習得するコース。公的機関による捜査隊員の就職条件として資格が生かされる国もあります。



参加条件 ▶▶ PADIアドヴァンスド・オープン・ウォーター・ダイバー以上で、18歳以上

コース内容 ▶▶ 海洋実習4ダイブ

▶ 行動範囲を広げよう!

27 リブリーザー・ダイバー

特殊な器材の使い方を学ぶ

呼吸に使われた気体を水中に放出するのではなく循環させ再利用していくシステムがリブリーザー。このコースでは基本的なレクリエーションタイプのリブリーザーの使用法や知識を習得します。リブリーザーは製造メーカーごとに使用方法が異なるため、コースで使用したタイプごとの認定カードが発行されます。



参加条件 ▶▶ PADIオープン・ウォーター・ダイバー以上、エンリッチド・エア・ダイバー、18歳以上

コース内容 ▶▶ 限定水域2ダイブ、海洋実習4ダイブ

▶ 行動範囲を広げよう!



ダイビングの身だしなみをチェック!

スノーケル

マスク

レギュレーター

ダイブ・コンピューター

オクトパス

フィン

BCD

ゲージ(残圧計、コンパス)

take the **MASTER SCUBA DIVER Challenge**



※ログブックに記録された50ダイブ以上のダイビング経験の証明が必要です

さまざまな海の遊び方をマスターした、
レジャーダイバーの最高峰

「マスター・スクーバ・ダイバー(MSD)」を

目指そう!



遊びのエキスパートの称号を手にしよう。

ダイビングの楽しさは、経験を重ねるほどに深まっていきます。

潜るたびに新しい感動を味わい、さらなる感動との出会いを夢見る。

そんな幸せな連鎖を、より多くのダイバーに体験してもらうために。

PADIでは、正しい知識とスキルを備え、豊富な経験を重ねたダイバーを
〈マスター・スクーバ・ダイバー(MSD)〉と認定し、栄誉ある称号を贈っています。

技術を学び、経験を積むことで、ダイバーとしても、人間としても成長していく。

そんな継続がもたらす力を実感してもらうことも、PADIの大切なミッション。

さあ、続けるほどに感動がひろがる、ダイビングの奥深い世界へ。

PADIは、すべてのダイバーを全力でサポートし続けます。

マスター・スクーバ・ダイバー 認定取得者の特典

MSD特製ログ・バインダー プレゼント!

"Master Scuba Diver"の文字と
PADIのロゴ入りログ・バイン
ダーを2019年マスター・ス
クーバ・ダイバー認定取得者
全員にプレゼントします。

※特典は予告なく変更・終了する場合があります。予めご了承ください。



ダイブマスター・コース

PADIダイブマスターは、PADIプロフェッショナルの道への最初のステップです。このコースでは、あなたのダイビング知識とスキルをプロレベルまで高め、コース修了後はダイバー達のリーダーとして、さまざまな活躍の場が得られます。海の素晴らしさを、ダイビングの楽しさを一人でも多くの仲間と分かち合いたいあなたの夢を叶えるために、PADIダイブマスター・コースに今すぐチャレンジしましょう!!

参加前条件

- ① PADIアドヴァンスド・オープン・ウォーター・ダイバー、または、それに相当する資格を有していること。
- ② PADIレスキュー・ダイバー、または、それに相当する資格を有すること。
- ③ 過去36ヶ月以内にEFR一次および二次ケア・トレーニング、またはそれに準ずるものを修了していること。
- ④ ダイビングに適した体調であるか診断し、医師の署名の入った病歴/診断書(12カ月以内)
- ⑤ ログブックに最小限40回のダイブが完了していること。
- ⑥ 18歳以上であること。



ダイビングのプロを目指そう!

Divemaster Course

Products Introduction

PICK UP! ダイブマスター eラーニング / ダイブマスター・マニュアル



第1章～第9章、全282ページ。第1章～第8章はDVDと連動、第9章は潜水理論の復習という内容になっています。各章の最後に、実際に起きた事件や事故を題材にしたケース・スタディーを記載。実践的内容の記載が多く、今までより、より現実的。複数の小さな練習問題の後、最後にナレッジレビューという他のダイバーマニュアルと同様のレイアウトで非常に使いやすくなっています。カラー写真を多く掲載し、またDVDと連動しているため、内容をイメージしやすいのが特長です。

		
ダイブマスター・マニュアル	エンサイクロペディア・オブ・レクリエーション・ダイビング	ダイビング・ナレッジワークブック
		
インストラクター・マニュアル	ダイブマスター・スレートセット	ディスカバー・スクーバ・ダイビング・キューカード
		
ダイビング・エデュケーション・ログ	PADI プロバッグ	

PADI製品のご購入は、最寄りのPADIダイブセンター/リゾートまで。

PADI eラーニングでの学習も可能!詳しくは、P30～31をご参照ください。



PADI AWARE

FOUNDATION™



PADI AWARE FOUNDATION® (PADI AWARE財団)は、すべてのダイバーによるすべてのダイビングで、海の惑星である地球を守ろうというムーブメントです。世界中のダイバーは、海とそこに棲む生き物との特別な関係を持っており、その保護に極めて重要な役割を果たすことができます。

私たちの海は地球の71%を占めますが、保護されているのは1%にも達しません。数え切れないほどの脅威に直面していますが、あなたは直接的に、積極的に、現状や今後の変化に影響を与えることができる位置にいます。

また、PADI AWARE FOUNDATION® は世界中のNPO団体とも力を合わせ「PADIオーシャン・アクションの10年」に取り組み、持続可能な開発目標 (SDGs)、特にSDG14「海の豊かさを守ろう」の実現を支援していきます。

- 海洋ゴミのない海を取り戻す。
- 海洋保護区 (MPA) の数を増やす。
- 脆弱なサメやエイなどの絶滅危惧種や脆弱な海洋生物を保護する。
- サンゴ礁の回復と復元を加速させる。
- ダイビング業界の二酸化炭素排出量を削減・相殺させる。

もし、あなたが私たちと一緒に、美しく健康的で、豊かな海の惑星を守ろうとするならば、海の代弁者として、ダイバーや海を守る人々によるこの国際的な活動に参加してください。そして、潜りましょう!

活動に参加しよう

フィンズ・オン (水中) とフィンズ・オフ (陸上) の両方から自然を癒したいと願い、一人からでも変化をもたらせると信じ、海への情熱を目的へと変え、周りの人々にも良い影響を与えていく、美しい水の惑星にとってかけがえのない人を「PADI Torchbearer トーチベアラー」と呼びます。PADIのロゴに描かれた、灯火 (トーチ) を持つ使者 (ベアラー) はその象徴であり、あなたがその一人となり、行動してくれることを願っています。



Marine Debris (海のゴミ)

プラスチックの小さな欠片から巨大な漁網まで、私たちの日常生活で使い捨てられた製品から生じるゴミは、毎日トン単位で海に流出し、私たちの海を苦しめています。海の「サイレントキラー」をなくし、海へのゴミの投棄を食い止めましょう。Dive Against Debrisにより、清潔で健康的な海の将来に貢献することができます。あなたが集めたデータおよび報告書は、世界的な市民科学の礎となり、問題の解決策を見つけ、危機に瀕した海洋生物を保護するために、政策決定者を説得し、力づけるのに役立ちます。



Sharks in Peril (危機に瀕するサメ)

海からサメが排除されようとしています。ダイバーとして、また地域で活動する地球市民として、あなたはサメを救ううえでの重大な役割を果たすことができます。乱獲、混獲、フカヒレ漁といった過剰な採取からサメを守るために、私たちは一体となって、力強い、共同の声明を発することが可能です。PADIは、世界の最も脆弱なサメおよびエイ類の保護を支援するために、あなたの声の力が必要です。間に合わなくなる前に、一緒に行動を起こしましょう。



エマージェンシー・ファースト・レスポンス・コース



「もしも」に安心。
大切な人を守る緊急ケア

日常での緊急時における救急法を身につける



身近な親しい人が突然倒れたり、交通事故などに遭った場合、あなたならどうしますか？ 救急車が到着するまでの時間にいかに適切な処置を施すことができるかで、患者のその後の状況は大きく変わってきます。大切な人を守るために、いざというときに備えて、適切な処置の仕方を身につけておきたいものです。

エマージェンシー・ファースト・レスポンスは、心停止など生命にかかわる緊急時のケア（一次ケア）と、即座に生命にかかわらないケガや病気のケア（二次ケア）について学ぶプログラムです。知識やスキルを身につけるだけでなく、現実的なシナリオ練習を通して、日常での緊急時における実践的な対処法を学びます。EFRは最新の医学的基盤に基づいた信頼性の高いプログラムで、世界中のさまざまな機関から承認されています。

「一次ケア・二次ケア」コース

「一次ケア」では、主にCPR（心肺蘇生法）を中心にコースが展開され、「二次ケア」で、ケガや病気の対応であるファーストエイド（応急手当）を学びます。
※レスキュー・ダイバー・コースを受講されるダイバーは、前条件として最低でもこのコース受講が必要となります。

「子供のためのケア」コース

「一次ケア・二次ケア」コースの内容を踏まえたうえで、小児と乳児特有の違いを中心にコースが展開されます。

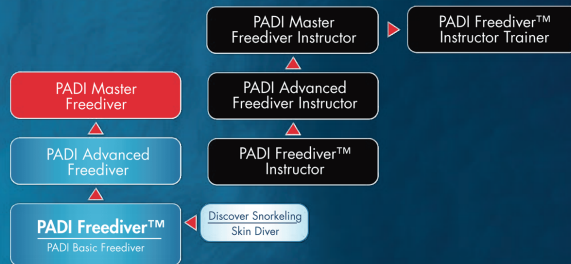
「CPR&AED」コース

「一次ケア」と「子供のためのケア」を踏まえたうえで、AED（自動体外式除細動器）をどのように使用するかを中心にコースが実施されます。

PADIフリーダイビング・プログラム

海と一体になって
自由に泳ぐ

PADI FREEDIVER™



まったく新しい方法で水中世界を楽しむ

もしもあなたが、静かに水中世界に入り、自分の思うままに、息の続く限り長く滞在したいと思っていたなら、「フリーダイビング」がおすすめです。PADI フリーダイビング・プログラムを受けることは、まったく新しい方法で水中世界を楽しむためのステップとなります。

最初に「PADI フリーダイバー・コース」では、息を止めた状態で水中世界を楽しむために必要な知識とスキルを得ることができます。その後は、PADIアドバンスド・フリーダイバー、マスター・フリーダイバーとインストラクター・レベルのコースで、トレーニングを続け、新たな深さにチャレンジすることができます。

ダイビングのことなら、PADIジャパン ウェブサイトをチェック。



講習って
どんなことを
するの？

ダイバーに
なるには
どうしたら
いいの？

うちの近くに
ダイビングショップは
あるの？

ダイバーに
なると
どんなことが
できるの？

そんなギモンもするっと解決。
PADIジャパンウェブサイトは、
ビギナーからベテランまで
ダイバーに役立つ情報が満載です。
プールや海での講習の詳しい解説は
必見のわかりやすさ。
お近くのダイビングショップを探したり、
こだわりのダイビングツアーや
海の最新情報もまるわかりです。
生き物の話題がいっぱいの
「魚との遊び方」もおすすめコンテンツ。
インストラクターなどダイビングの
プロフェッショナルを目指す方は
「GoPro」を見て勇気を出して。
PADIジャパンウェブサイトにアクセスして、
もっと楽しいダイビングを！

ダイビング
ショップって
何を
するところ？

ダイビング
ツアーでは
どこに行けるの？

ダイビングのアレコレを

するっと解決!



www.padi.co.jp



Mail 
Magazine

PADIダイバーのためだけのおトクなキャンペーンやツアー
情報をお届けするメールマガジン「ディアフェローダイ
バー」のご登録も、PADIジャパンウェブサイトからどうぞ。

PADI 



You 

